

個人投資家向け会社説明会



ダイトロン株式会社

証券コード: 7609 東証1部

1. 当社の概要
2. 取扱商品紹介
3. 第9次中期経営計画(9M)
4. 業績の推移及び見通し
5. 株式情報

当社の概要

Daitron

商号	ダイترون株式会社
設立	1952（昭和27）年6月24日
本社	大阪府大阪市淀川区宮原4-6-11
代表者	代表取締役社長 前 績行
資本金	22億70万8,560円
従業員数	連結：1,068名（うち正社員763名）
売上高	連結：516億84百万円（2017年12月期）
事業内容	電子機器及び部品、各種製造装置等の製造・販売 上記の輸出入業務
連結子会社	9社
株式	東証1部上場
証券コード	7609



創業の精神

「きびしい仕事 ゆたかな生活」

行動規範

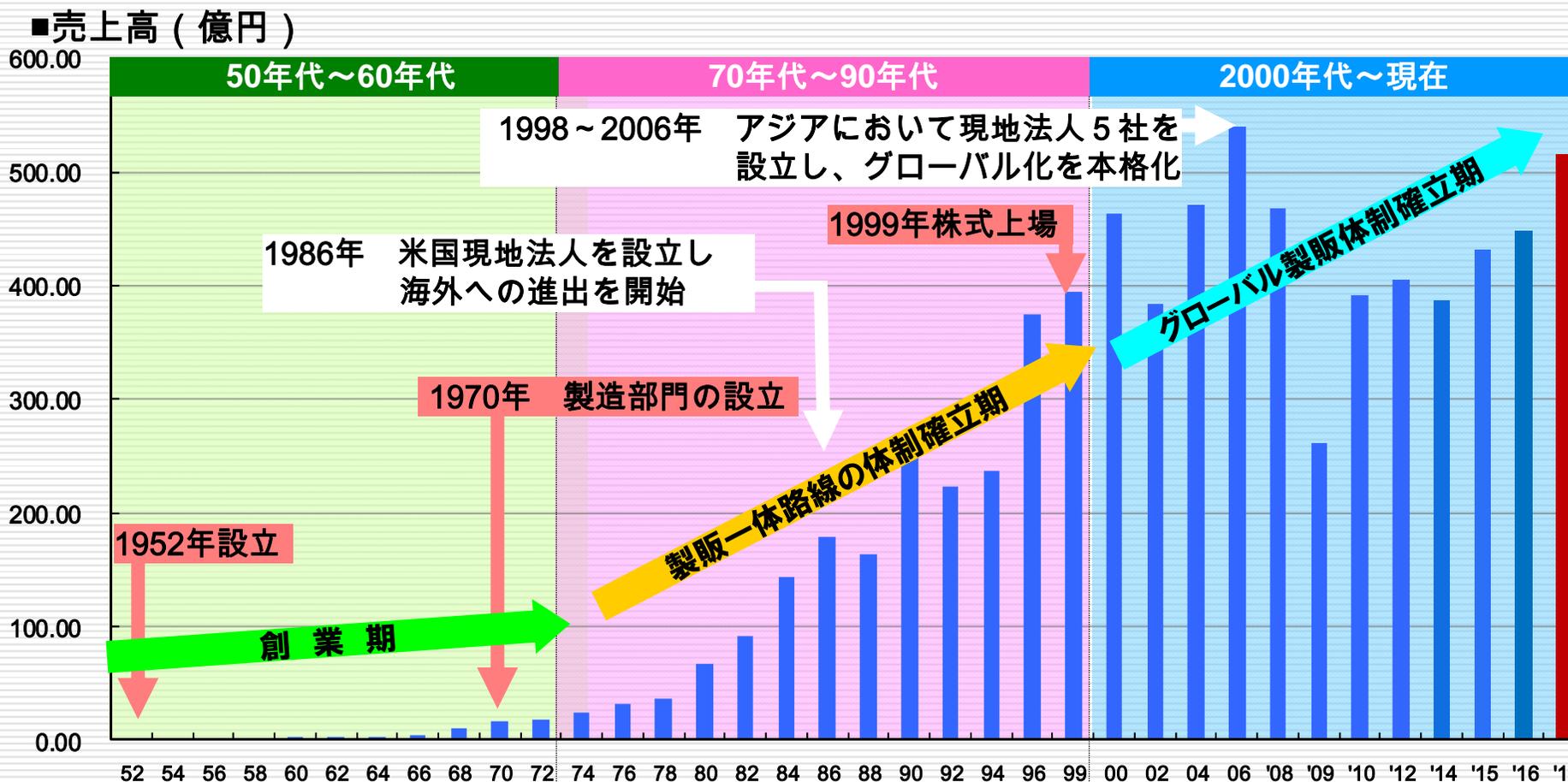
積極開拓 創意工夫 良識遵法
精励勤勉 友愛団結

経営理念

- 我が社は、社員の自己実現を尊重し完全燃焼を期するがため、真に働き甲斐のある快適な職場創りを目指します。
- 我が社は、株主・顧客・仕入先に対して満足の提供に努力致します。
- 我が社は、絶えずグローバルな視野に立って、技術革新と高付加価値の創造に挑戦していきます。
- 我が社は、絶えず感謝の念をもって社会に貢献していきます。

創業から現在まで

エレクトロニクス商社としてスタートした当社は、製造部門を設立することにより、製造から販売まで製販一体の経営で急速に成長



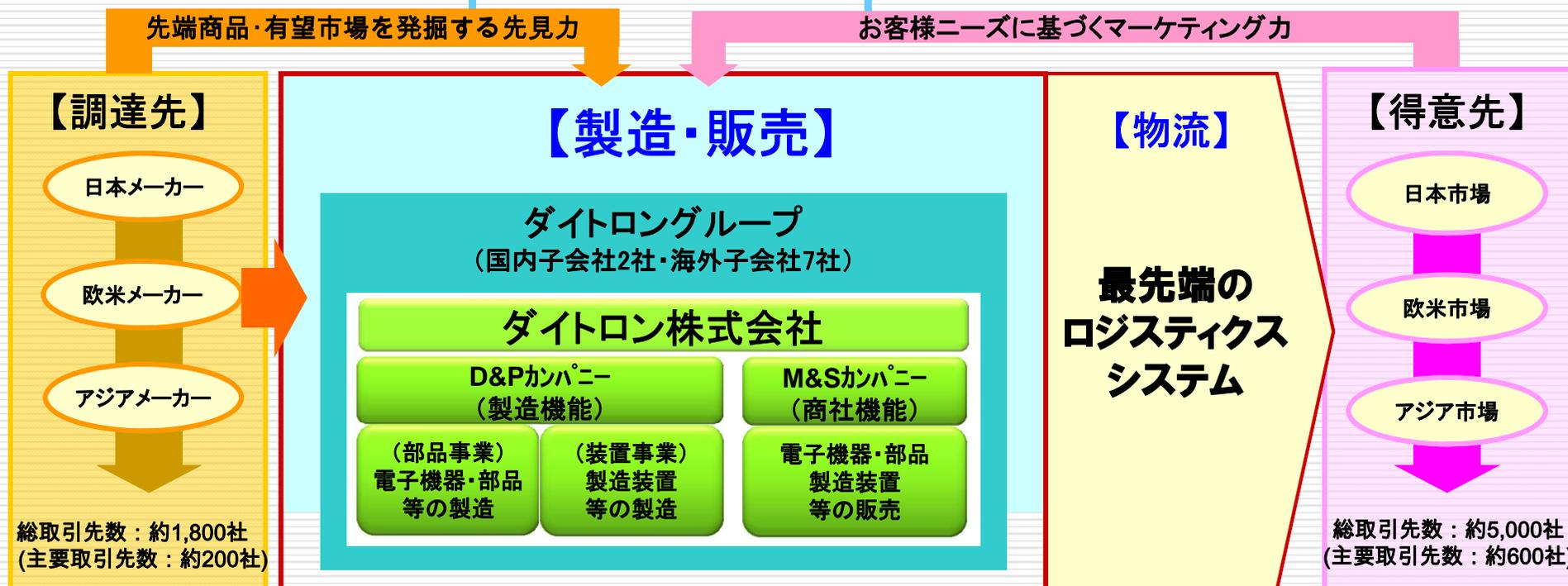
注) 1998年より連結決算を開始。グラフの売上高は1998年以降は連結ベース。それ以前は単体ベース。

(実績)

ビジネスモデルと強み

①製販融合路線のグループ編成

②先見力とマーケティング力



③業界トップクラスの物流サービス機能

④優良な顧客資産と口座数の多さ

製販融合路線のグループ編成

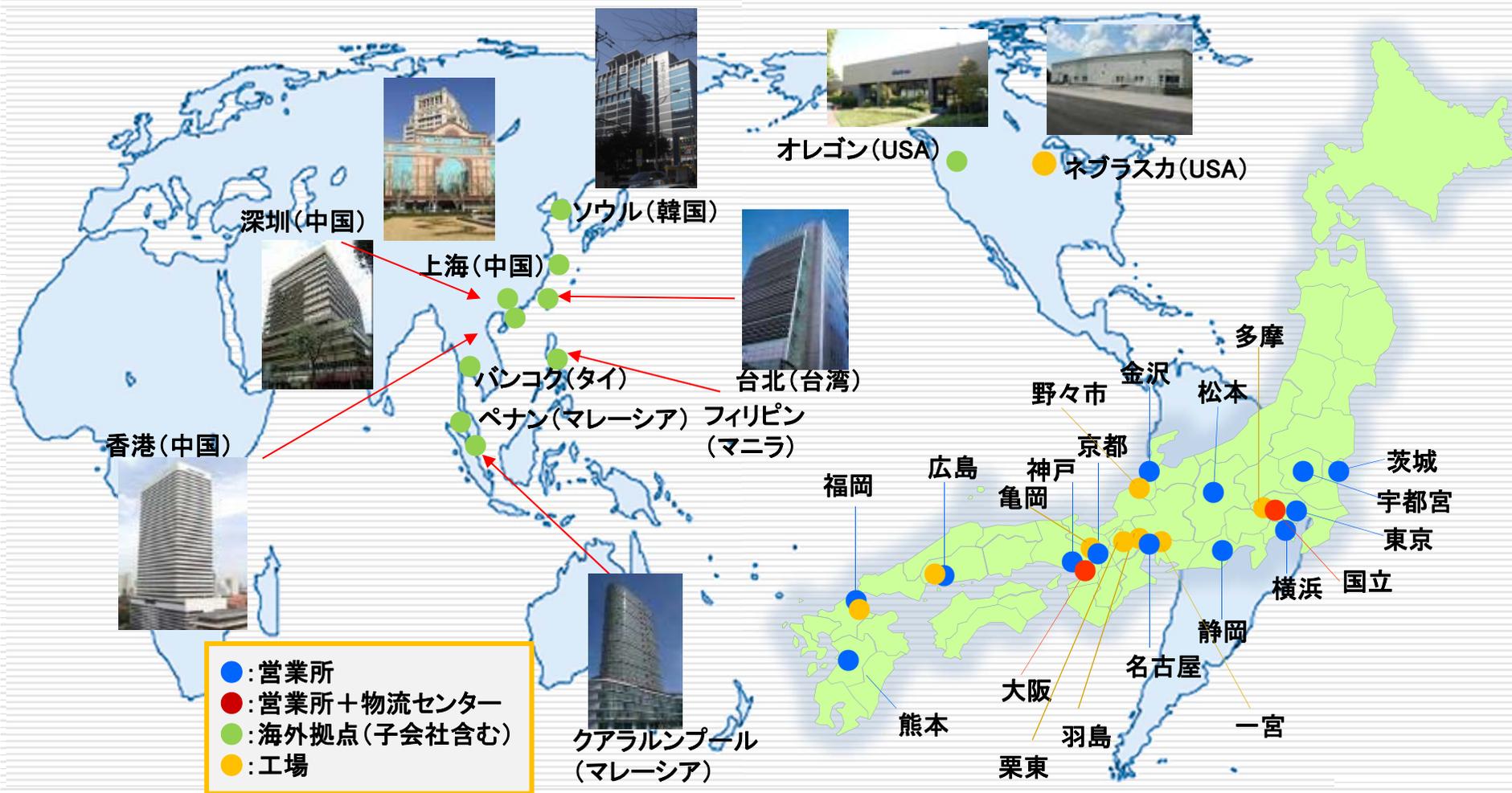
メーカー機能と商社機能の融合により高付加価値を創出



	部 門	概 要
D&P カンパニー (製造機能)	装置 事業部門	<p>【事業内容】 各種製造装置等の製造</p> <p>【従業員数】 108名(パート・アルバイト含む)</p> <p>【工場拠点】 多摩(東京)・羽島(岐阜)・ 金沢(石川)・亀岡(京都)</p> <p>【事業領域】 半導体製造装置、光電子関連、 一般産業</p>
	部品 事業部門	<p>【事業内容】 電子機器・部品等の製造</p> <p>【従業員数】 267名(パート・アルバイト含む)</p> <p>【工場拠点】 多摩(東京)・一宮(愛知)・ 栗東(滋賀)</p> <p>【事業領域】 スイッチング電源、UPS(無停電電源装置) ハーメチックコネクタ、耐水・耐圧コネクタ ワイヤーハーネス、カメラケーブル</p>

	概 要
M&S カンパニー (商社機能)	<p>【事業内容】 電子機器及び部品、各種製造装置等の販売</p> <p>【従業員数】 436名(パート・アルバイト含む)</p> <p>【営業拠点】 宇都宮・茨城・東京・国立・横浜・静岡・松本・名古屋・金沢・京都・大阪・神戸・広島・福岡・熊本</p> <p>【主な特徴】</p> <ul style="list-style-type: none">・先見力 独自のネットワークにより、最先端の商品や今後の有望市場を創造する先見力に優れています。・マーケティング力 市場の動向からお客様のすき間ニーズまで見極めるマーケティング力を有しています。・優良な顧客資産と口座数 国内のお客様中心に、総取引社数約5,000社

「技術立社」として、充実した営業拠点展開 国内15拠点・海外10拠点・国内8工場・海外1工場



当社の事業構造

2018年2Q累計実績



事業	商品セグメント別	売上高構成比	総利益率	オリジナル 製品比率	海外売上比率	
電子機器・部品	電子部品 & アセンブリ	28.6%	25.5%	30.3% (前年同期: 24.1%)	北米 3.8% (前年同期: 3.2%)	
	半導体	5.2%	20.5%			
	エンベデッドシステム	6.7%	14.7%			
	電源機器(グリーン・ファシリティー含む)	12.4%	14.2%		30.3% (前年同期: 24.1%)	欧州 1.4% (前年同期: 0.3%)
	画像関連機器・部品	22.7%	16.7%			
	情報システム	4.1%	27.4%			
	電子機器・部品のその他	1.4%	11.5%			
製造装置	半導体・FPD製造装置	5.0%	30.3%	30.3% (前年同期: 24.1%)	アジア 13.2% (前年同期: 14.5%)	
	電子部品製造装置	9.7%	34.7%			
	製造装置その他	4.2%	16.9%			
全 体		100.0%	21.7% (前年同期:22.3%)	30.3% (前年同期:24.1%)	18.4% (前年同期:17.9%)	

は、当社オリジナル製品を含んだ商品セグメントとなっております。

取扱商品紹介

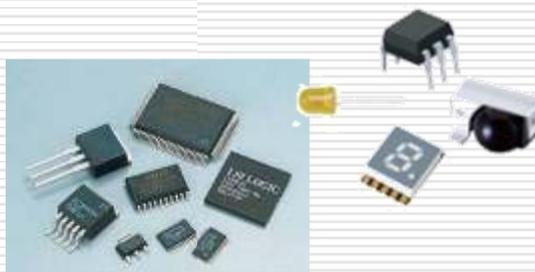
電子機器及び部品分野の概要

電子部品 & アセンブリ商品



●コネクタ、ハーネス、機器組立配線

半導体



●カスタムIC、ASSP、汎用品

エンベデッドシステム



●エンベデッドボード、コンパクトPC

電源機器



●電源、瞬低保護装置

画像関連機器・部品



●CMOSカメラ・レンズ・照明、画像処理機器

情報システム



●非接触ICカードシステム、ビデオ会議

主要商品

- ・コネクタ ・組立配線 ・スイッチ
- ・ワイヤーハーネス ・ケーブル等

用途

- ・一般産業機器 ・半導体製造装置
- ・FA機器 ・真空機器 ・水中機器 等

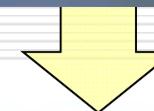
用途及び製品



各種コネクタ、
ハーネス



車輛ハーネス
Daitron inc.製



耐水圧コネクタ
自社製品

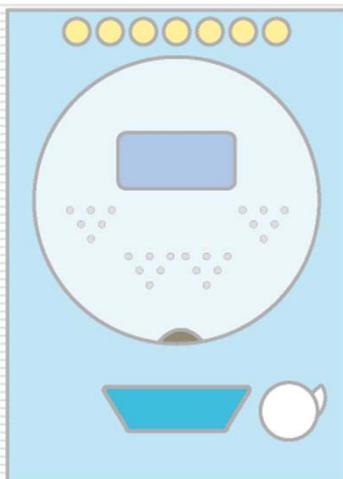
主要商品

- ・画像IC ・電源用IC
- ・通信用IC ・カスタムIC等

用途

- ・情報通信機器 ・アミューズメント
- ・映像関連機器 等

用途及び製品



パチンコ



プリンター



プロジェクター



アナログ・高周波IC



画像変換IC



窒化ガリウムパワートランジスタ

主要商品

- ・CPUボード
- ・FA用ボード

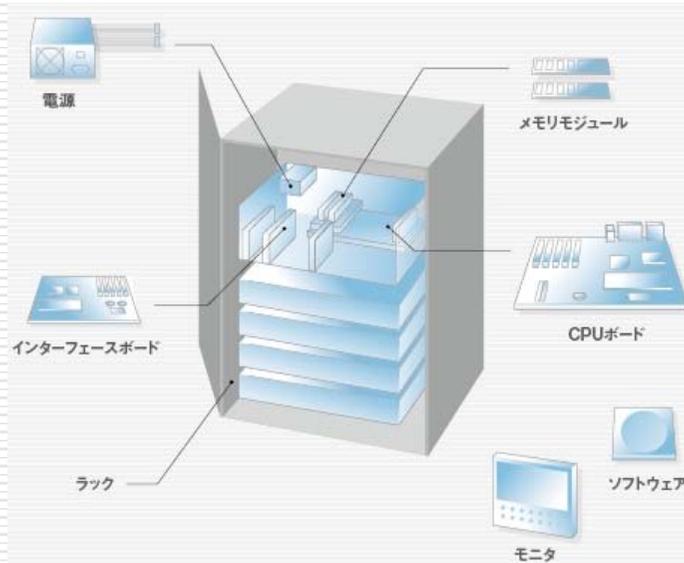
用途

- ・計測機器
- ・半導体関連装置
- ・機器制御用
- 等

用途及び製品



半導体製造装置



機器制御・画像処理
産業用PC



産業用カスタムPC



シングルボード
コンピュータ

主要商品

- ・スイッチング電源
- ・トランス
- ・無停電電源装置 (UPS)等

用途

- ・医療用関連機器
- ・分析関連機器
- ・サーバー関連
- 等

用途及び製品



手術用照明灯



データセンター



無停電電源装置(UPS)



スイッチング電源

自社製品



瞬低保護装置

主要商品

- ・カメラ ・レンズ ・照明 ・モニタ
- ・画像処理装置 ・特殊カメラ等

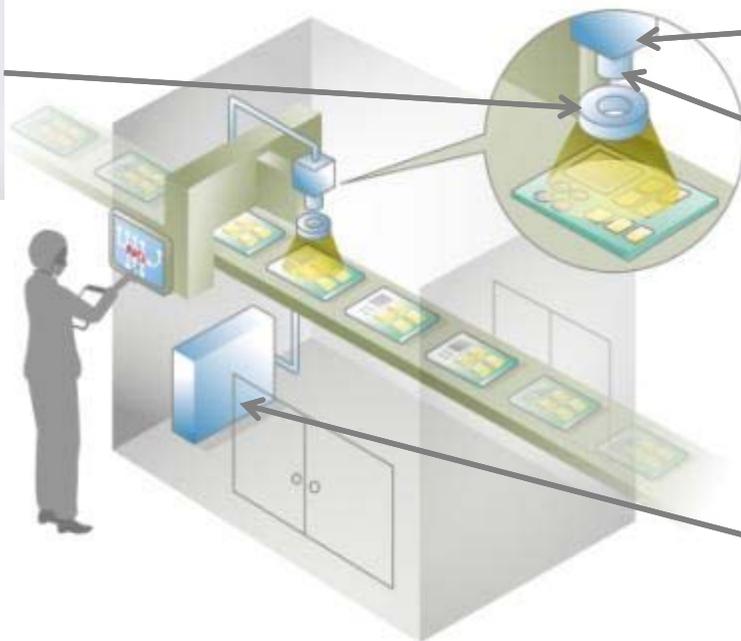
用途

- ・FA機器 ・計測・検査関連機器
- ・医療用関連機器 等

用途及び製品



照明



カメラ



レンズ



画像処理装置

アプリケーション例

ライン検査等

主要商品

- ・ビデオ会議システム
- ・非接触ICカード/リーダライタ等

用途

- ・決済端末市場 ・ セキュリティ市場
- ・認証システム市場 等

用途及び製品



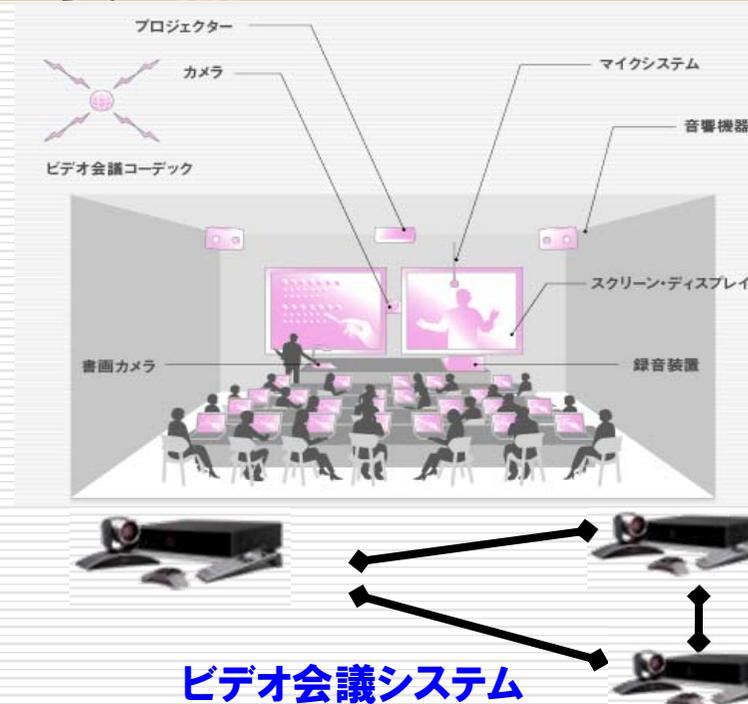
各種交通機関



フェリカポート採用パソコン



入退室管理



製造装置分野の概要

半導体・フラットパネルディスプレイ（FPD）製造装置

フラットパネルディスプレイ製造装置

LSI製造装置

電子材料製造装置



- カバーガラス加工装置
- 有機EL発光検査装置
- リフトオフ装置
- チップソーター
- 枚葉洗浄装置
- ウェーハ面取機

電子部品製造装置

光デバイス製造装置

エネルギーデバイス製造装置



- 高精度ダイボンダー
- スクライブ・ブレイク装置
- エッジデリーション
- ライトソーキングマシン

フラットパネルディスプレイ (FPD) 製造装置 **Daitron**

主要製品

- ・FPD自動外観検査装置
- ・カバーガラス加工装置
- ・有機EL発光検査装置

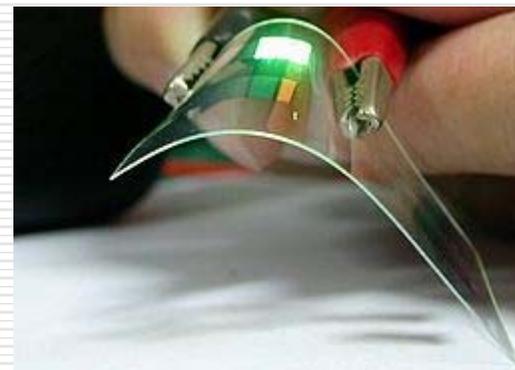
用途

- ・液晶パネル
- ・ELバックライト照明
- ・有機ELパネル **等**

用途



液晶TV



有機ELパネル

主要製品

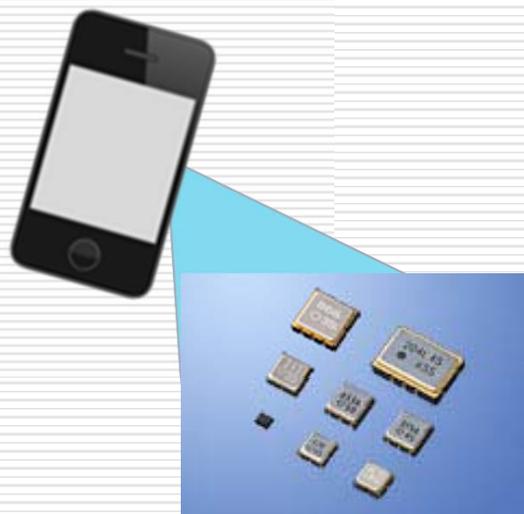
- チップ選別装置
- 各種洗浄装置
- ウェーハ移載梱包装置等

用途

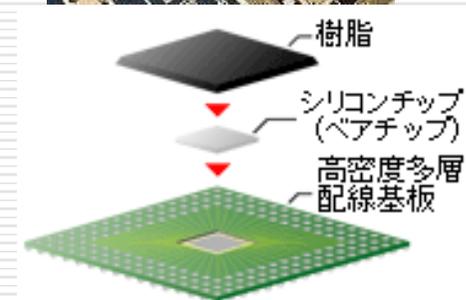
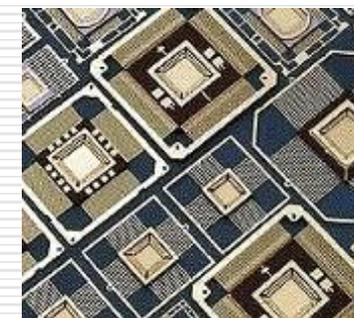
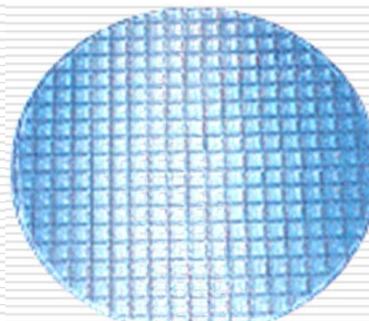
- 通信用デバイス
- パワーデバイス

等

用途



通信用デバイス



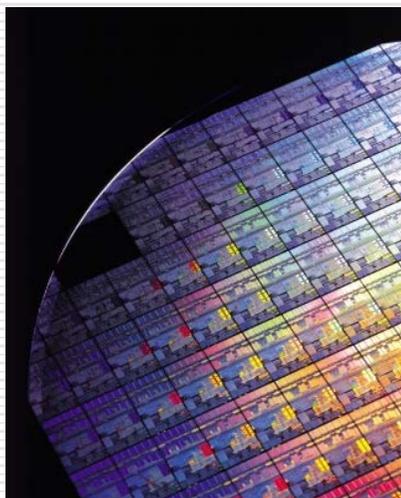
主要製品

- ・ウェーハ面取機
- ・ウェーハ研磨機
- ・枚葉洗浄装置

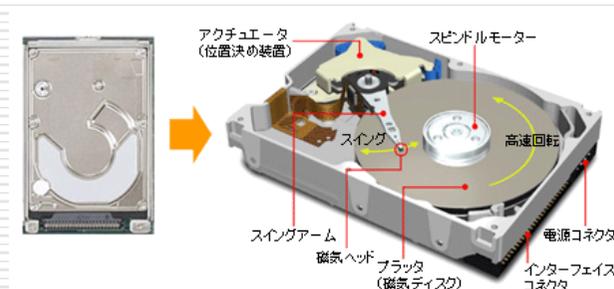
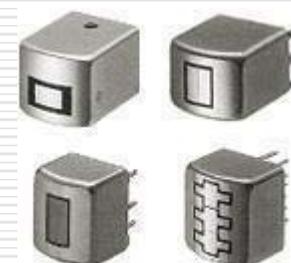
用途

- ・シリコンウェーハ
 - ・化合物ウェーハ
 - ・ハードディスク用原版
- 等

用途



シリコンウェーハ



ハードディスクドライブ

主要製品

- ・エージング装置
- ・スクライブ・ブレイク装置
- ・テスター(LD・LED)

用途

- ・レーザーダイオード
(LD:赤色、ブルー・長波長)
- ・発光ダイオード(LED) 等

用途



光ピックアップ



LD
(レーザーダイオード)



信号機



LED (発光ダイオード)



ヘッドライト

主要製品

- エッジデリーション装置
- 薄膜スクラバー
- ソーラーシミュレーター 等

用途

- 太陽電池
- 燃料電池
- 二次電池(リチウム電池) 等

用途及び製品



ソーラーパネル



ライトソーキングマシン



薄膜スクラバー

第9次中期経営計画（9M）



新 グループ・ステートメント

Creator for the **NEXT**

エレクトロニクス業界を担う企業として
グループのネットワークを活かし
新しい価値をクリエイトする

目指す姿

- 製販が融合した他に類を見ないユニークな企業
- 業界にとってなくてはならない特徴ある技術・製品を有する企業
- 社員にとって働き甲斐があり、誇りに思える企業
- 一致団結の強さと同時に自律能動的に動く組織

将来の目標

7Mと8Mで行った「事業構造の変革」を基礎に、
9Mより「売上・利益の成長本格化」を図り、
将来的に「1,000億円企業」の実現を目指す。



長期目標

連結売上高
1,000億円

5つの事業戦略

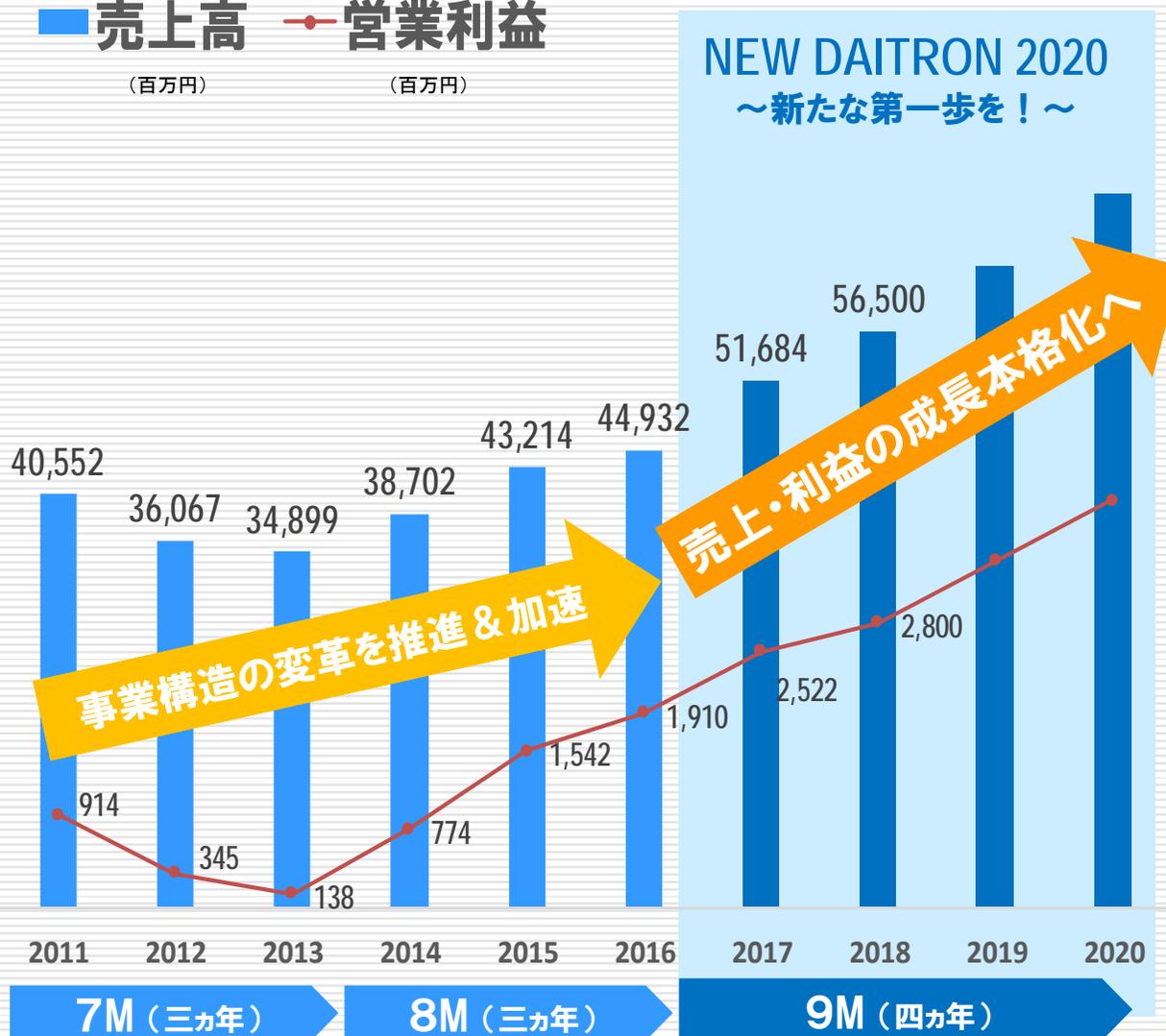
- 1 成長性重視の事業の再構築を推進**
- 2 オリジナル製品開発の強化**
- 3 海外ビジネス展開の強化**
- 4 マーケティング力と営業力の向上**
- 5 生産部門の統合強化**

1) 数値目標(連結)

■ 売上高 ● 営業利益

(百万円)

(百万円)



【2020年 数値目標】

売上・利益の持続的な
成長により
過去最高実績を越えて
更に先の成長を目指す

【目標とする経営指標】

自己資本比率

50%

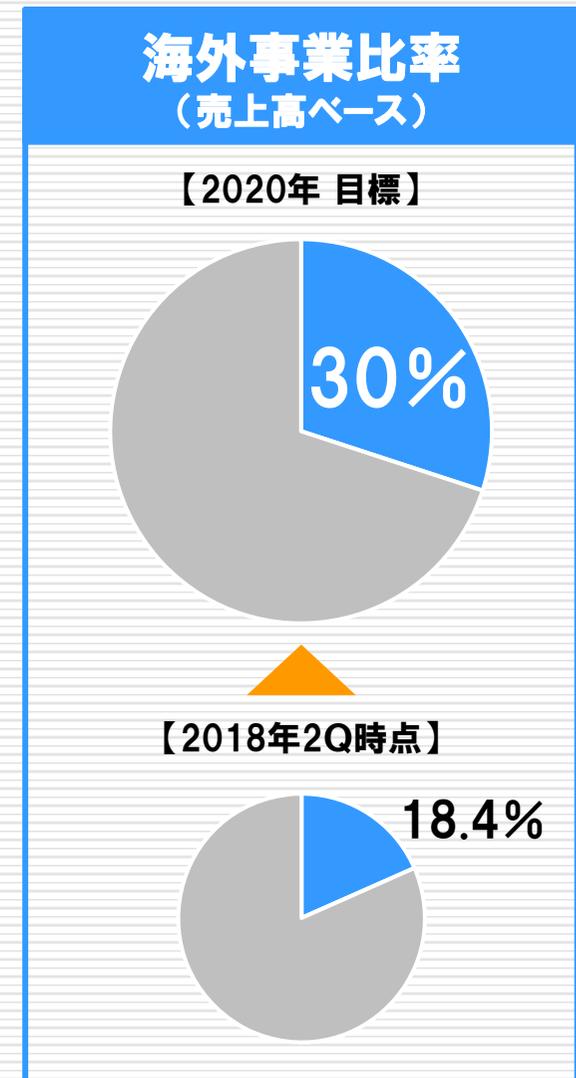
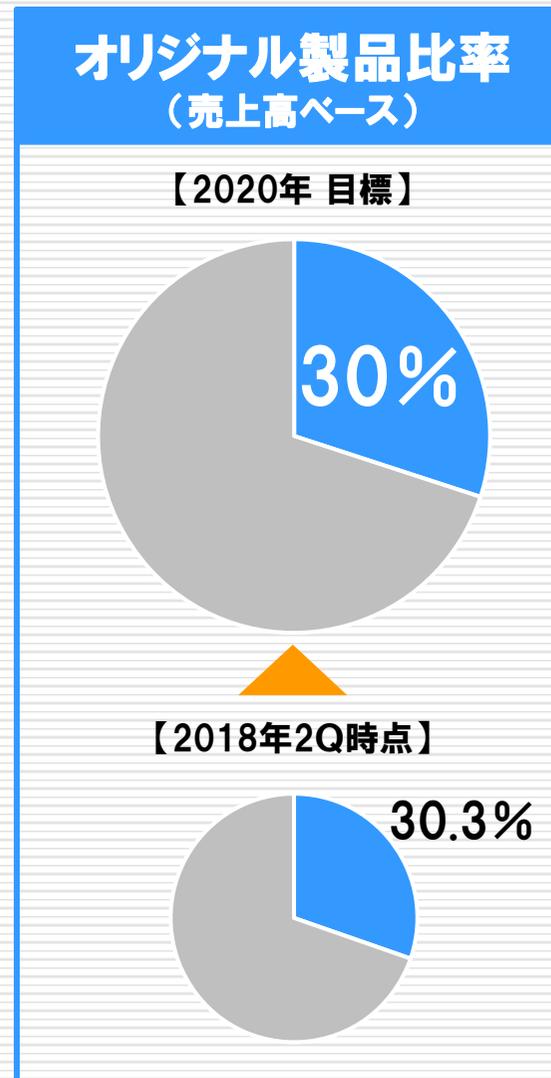
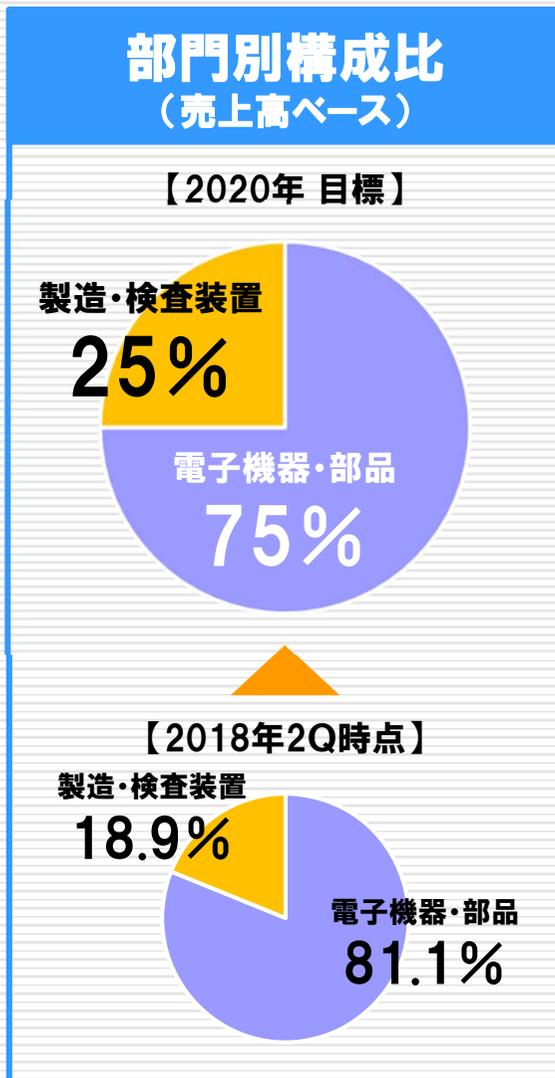
ROA

4%以上

ROE

8%以上

2018年(9M2年目) 2)事業構造の状況(連結)



1 成長性重視の事業の再構築を推進 **Daitron**

成長が有望視される
新市場

自動車

医療

インフラ

ロボット関連技術

航空・宇宙

新市場
開拓

事業の
再構築
を推進

2 オリジナル製品開発の強化 *Daitron*

オリジナル製品

Daitron

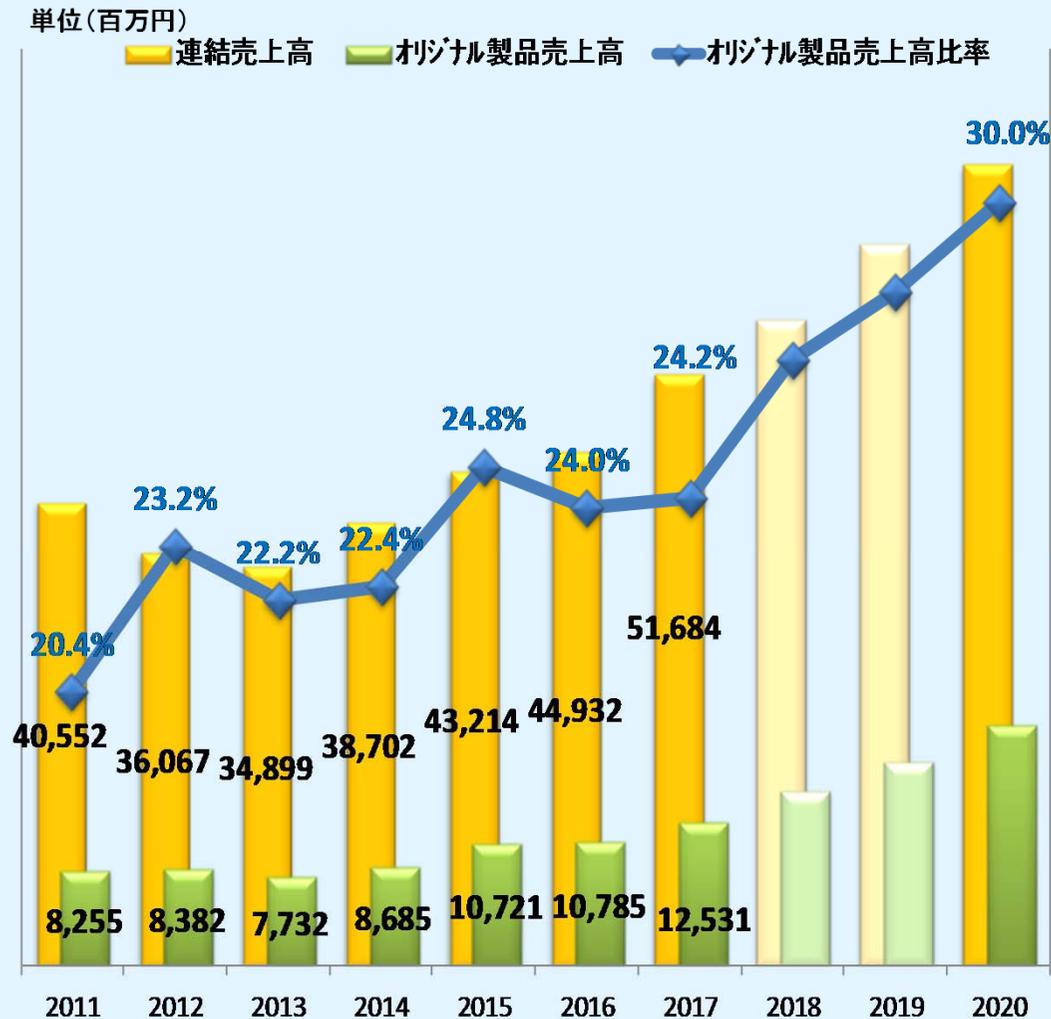
当社のオリジナルブランド

- 電子機器・部品関連
- 製造装置関連

開発
拡充

収益力の
更なる
強化

2 オリジナル製品開発の強化 **Daitron**



オリジナル製品比率
(売上高ベース)
2020年 30%を目指す

戦略ポイント

「事業ユニット」に基づく 強化・拡大戦略を展開

- ⇒ 事業ユニットを増やす
- ⇒ 各事業ユニットの規模を拡大する
(1ユニット当たり10~20億円を目指す)
- ⇒ 仕入先との連携によるラインナップ強化を図る

<2017年12月より>

- ⇒ **ダイトテック株式会社の立ち上げ**

3 海外ビジネス展開の強化

電子機器・部品関連
の安定的な売上拡大

海外市場における
顧客の拡大

当社の海外ネットワークを活かした
多国間ビジネスの拡大

取組
強化

海外
ビジネス
拡大

3 海外ビジネス展開の強化 **Daitron**



海外売上高比率
(売上高ベース)
2020年 30%を目指す

戦略ポイント

地域に密着したビジネス展開を目指す

- ⇒ ローカル企業との取引拡大
- ⇒ 電子機器・部品ビジネスの拡大
- ⇒ アウト-アウト ビジネスの拡大
- ⇒ 地域独自のビジネス推進
- ⇒ ネットワークの拡充

<2018年1月より>

- ⇒ 海外事業本部(独立組織)設置によりグローバル化を更に推進

4 マーケティング力と営業力の向上 **Daitron**

国内外ネットワークの拡充

&

国内外における展示会展開強化

市場
プレゼンス
向上



5 生産部門の統合強化 *Daitron*

中部工場

(愛知県一宮市)

ダイトロングループの基幹工場



【第1工場】電子機器・部品関連生産体制
⇒ 平成28年11月より稼働

【第2工場】装置関連生産体制
⇒ 平成30年の完成予定

生産と開発の
中核拠点
として強化

「製販融合路線」による

“エレクトロニクス業界の**技術立社**”として

独自の進化を図り

高成長・高収益の実現を目指す

業績の推移及び見通し

四半期業績推移



第2四半期累計実績

■ 売上高 **28,491百万円**

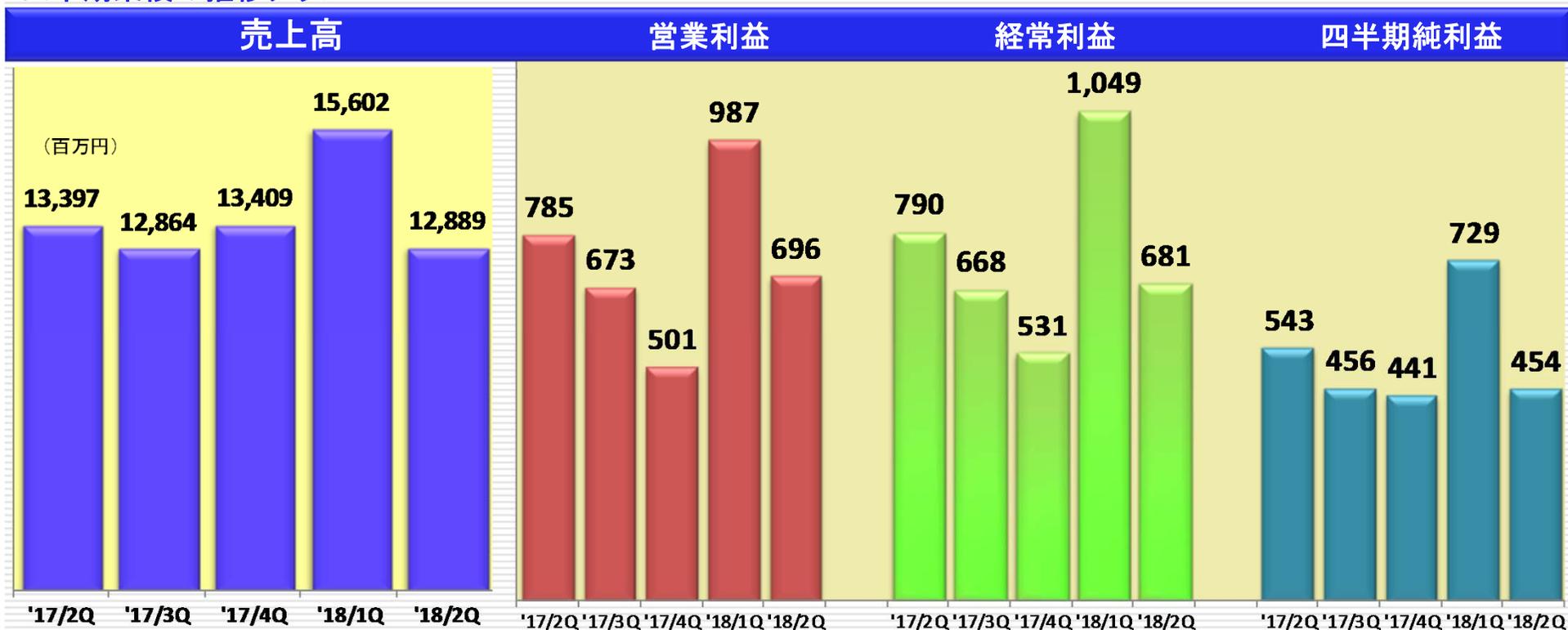
(前年同期比 112.1%)

■ 営業利益 **1,683百万円**
(前年同期比 125.0%)

■ 経常利益 **1,730百万円**
(前年同期比 125.1%)

■ 四半期純利益 **1,183百万円**
(前年同期比 122.0%)

四半期業績の推移グラフ



連結財政状態、連結キャッシュ・フローの推移



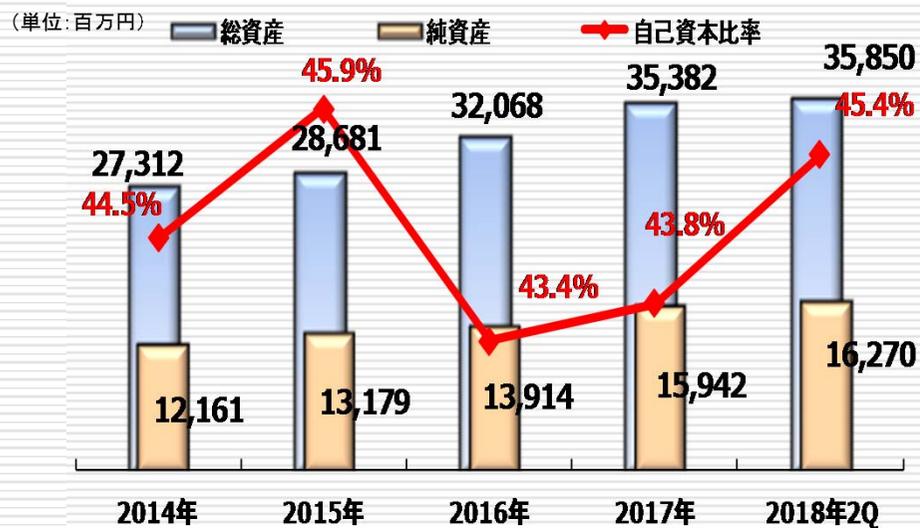
連結財政状態(2018年2Q時点)

総資産
35,850百万円

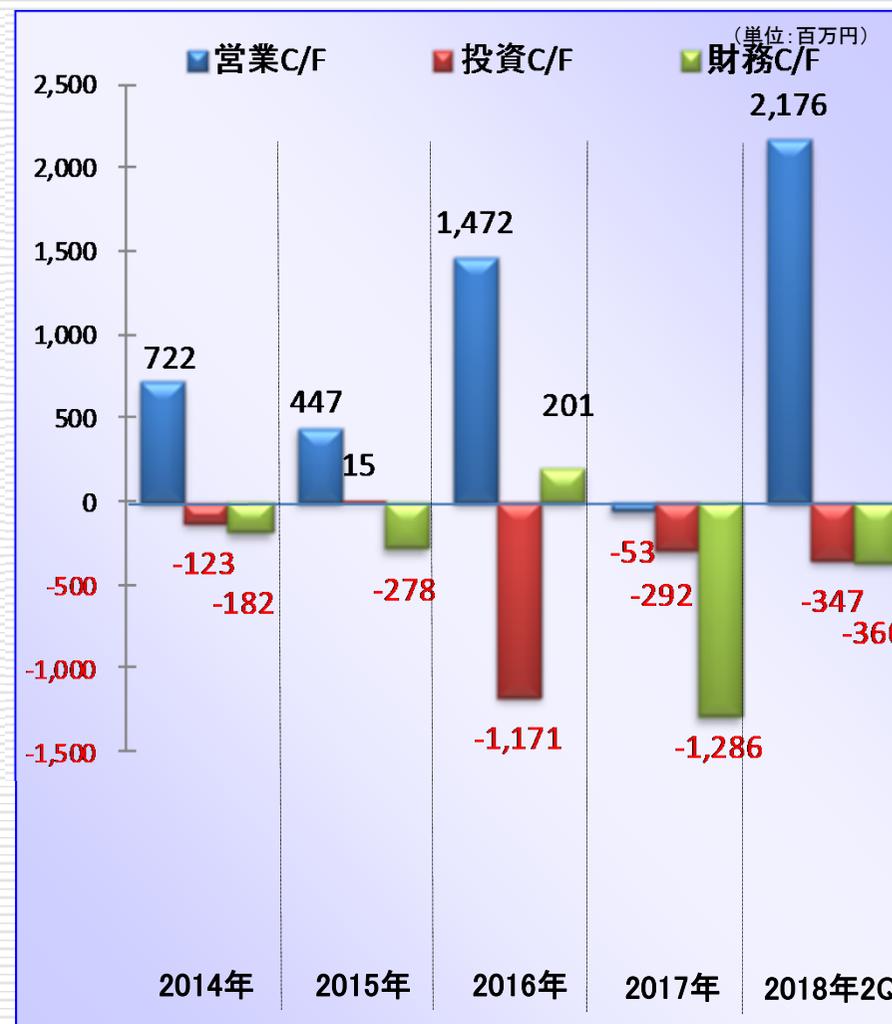
負債
19,580百万円

純資産
16,270百万円

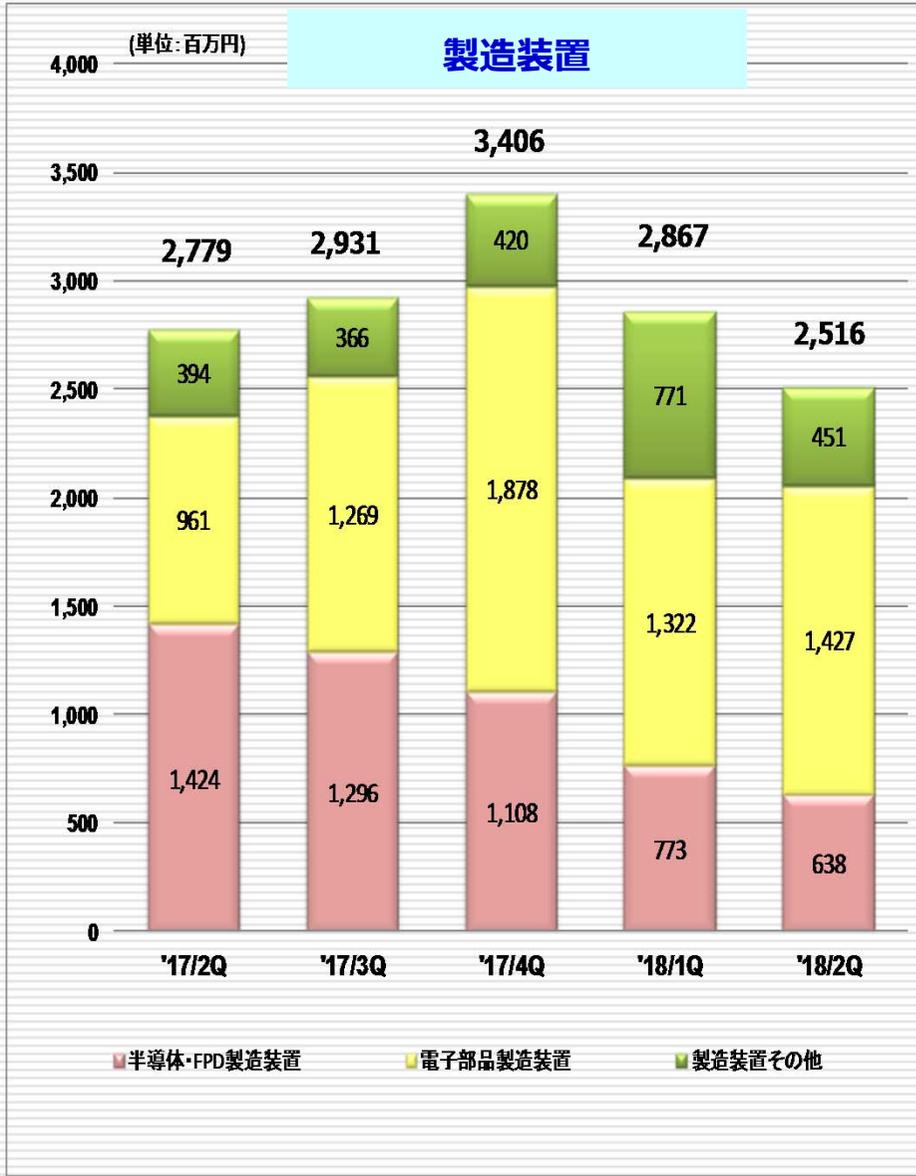
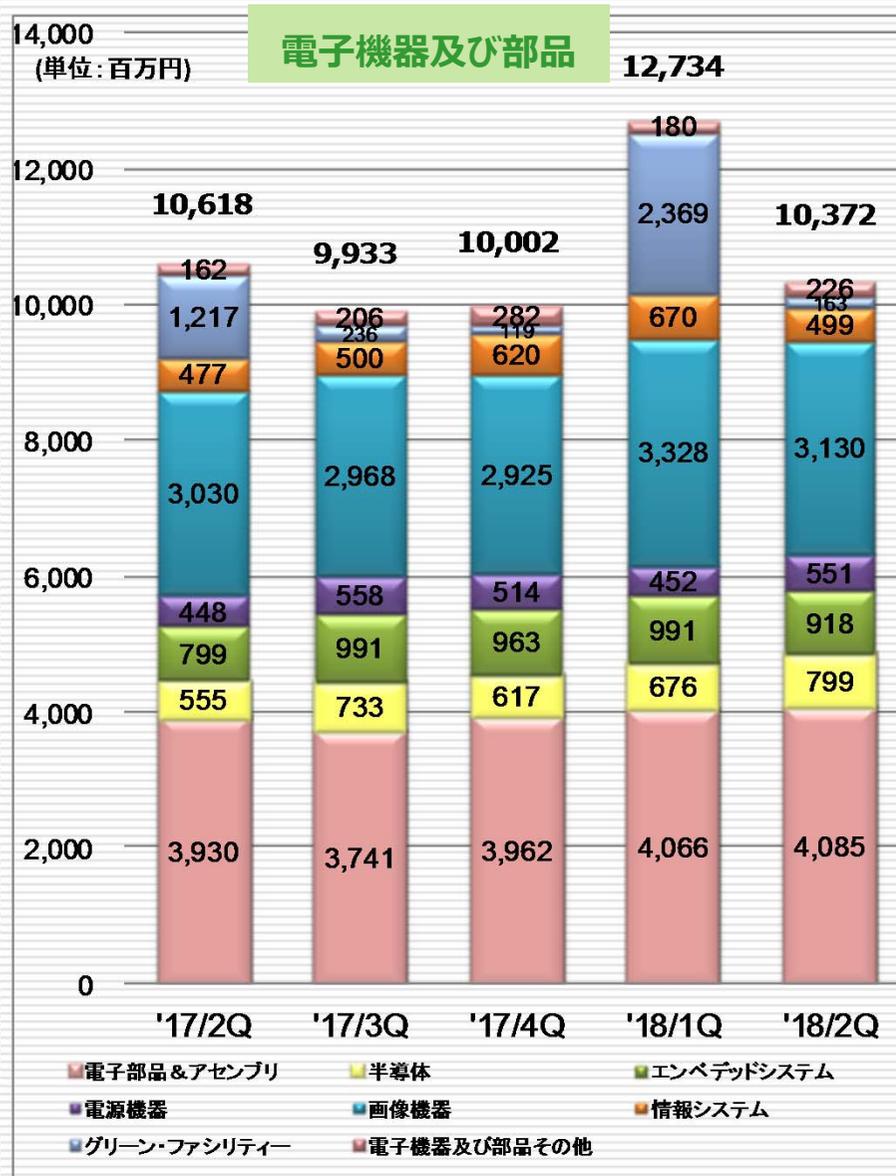
総資産・純資産・自己資本比率



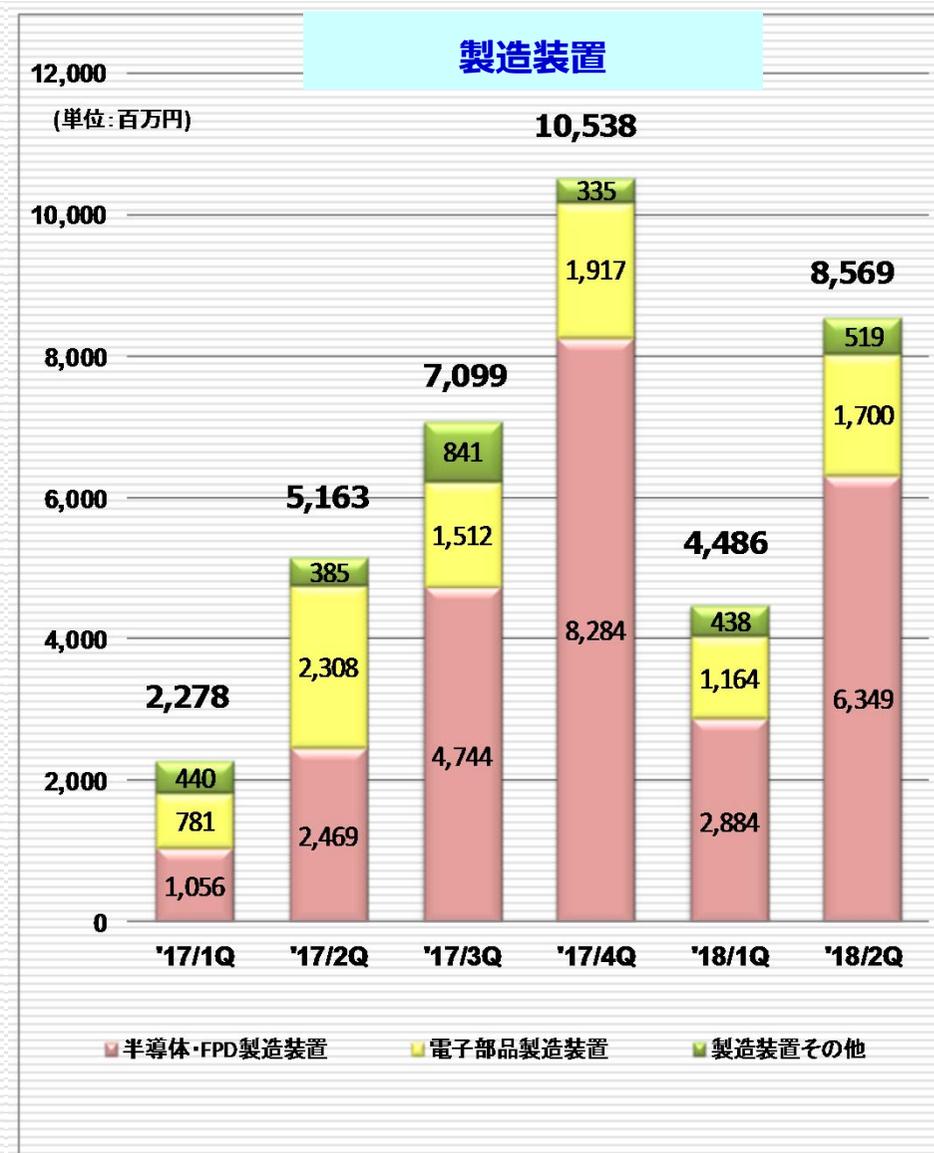
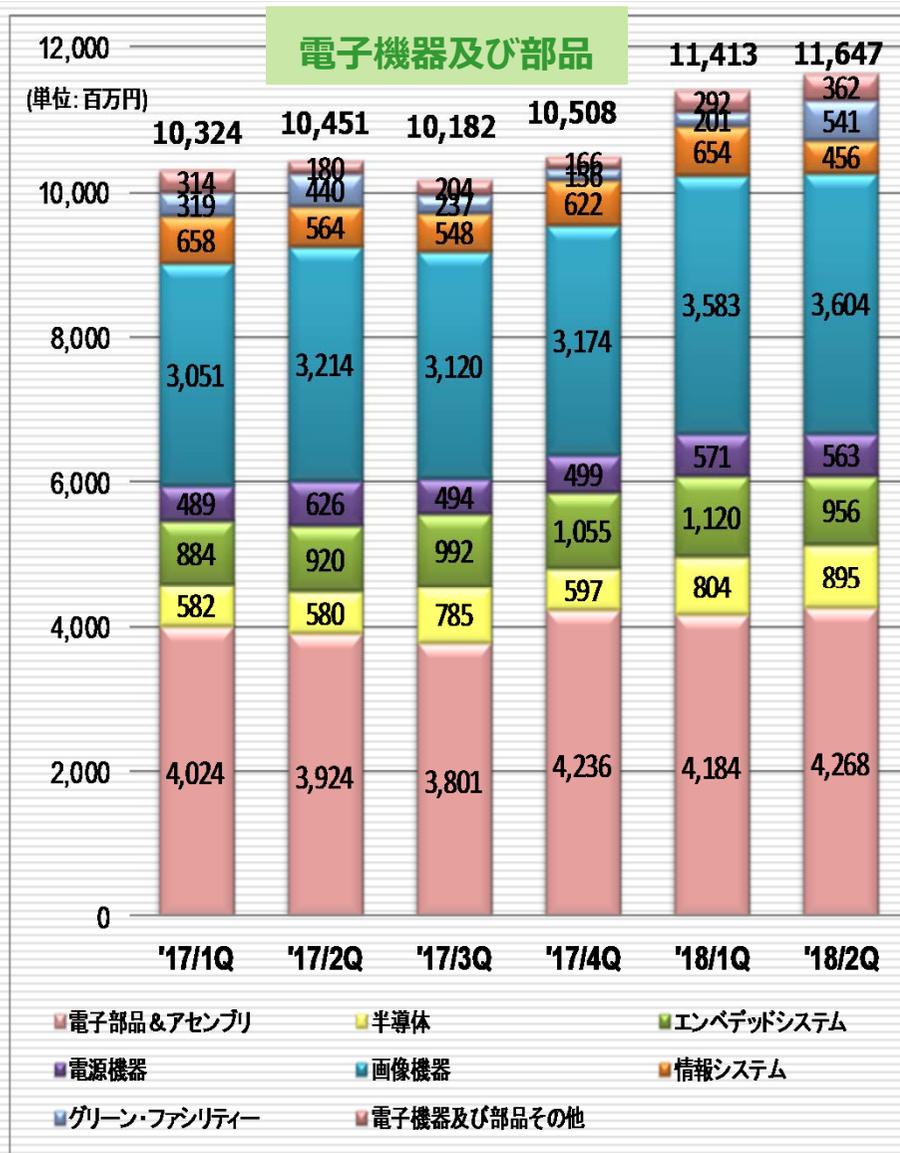
連結キャッシュ・フローの状況



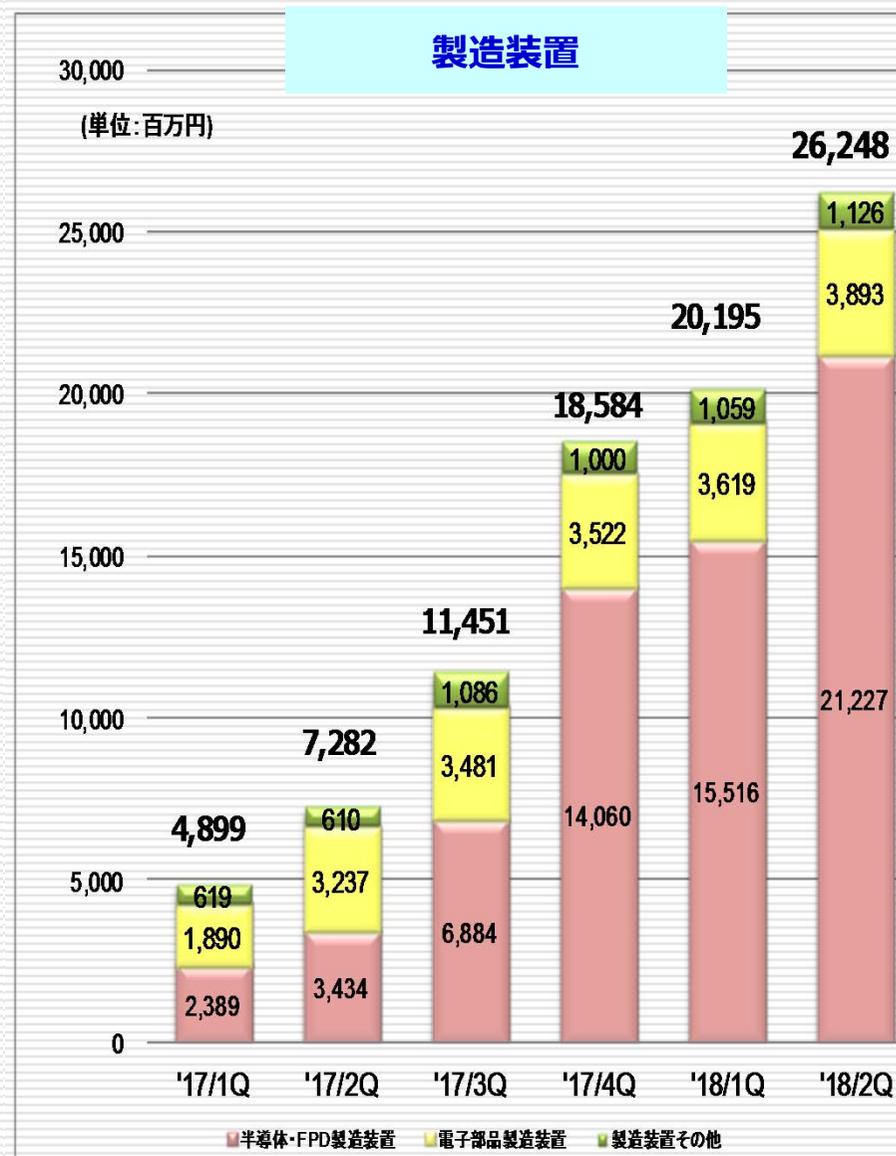
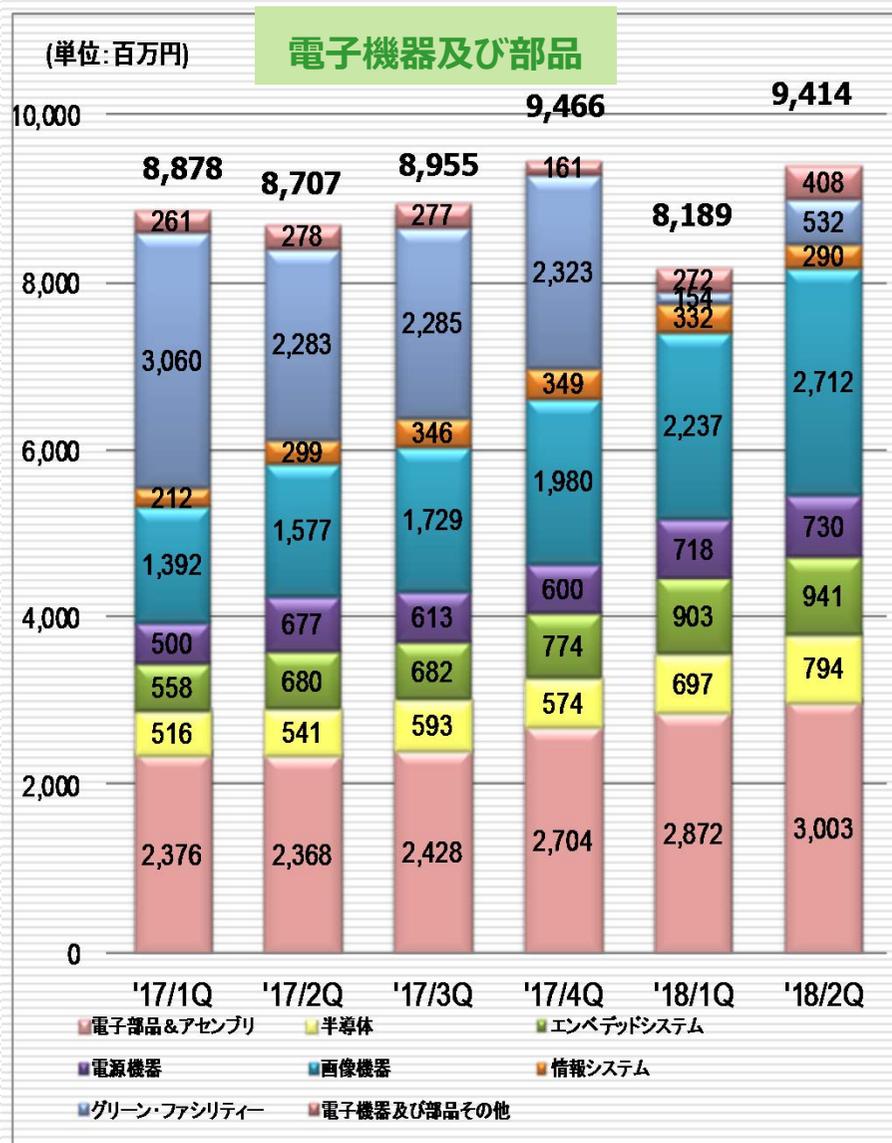
商品セグメント 四半期別業績（売上高）推移 **Daitron**



四半期別 受注高推移



四半期別 受注残高推移



通期連結業績予想

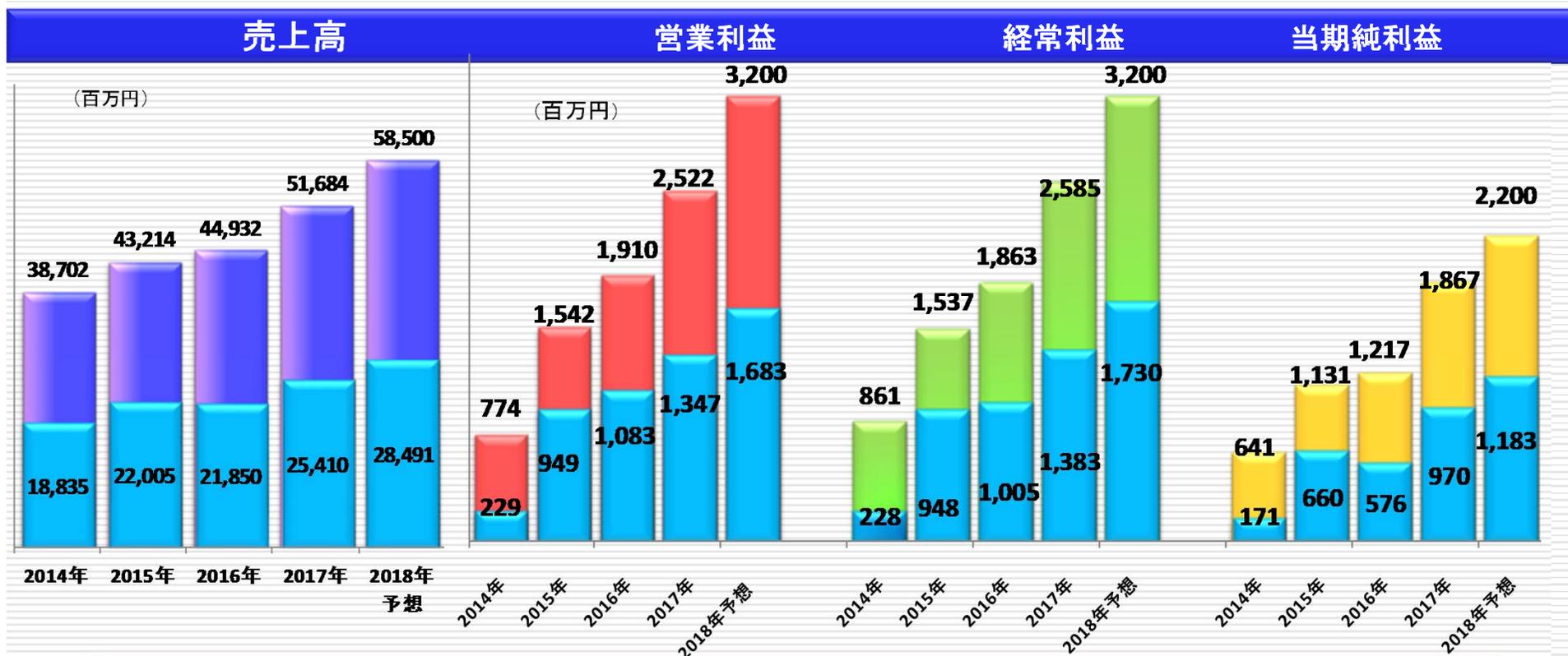


■ **売上高** **58,500百万円**
(前年比 113.2%)

■ **営業利益** **3,200百万円**
(前年比 126.9%)

■ **経常利益** **3,200百万円**
(前年比 123.9%)

■ **当期純利益** **2,200百万円**
(前年比 117.8%)



配 当

	第2四半期末 (中間)	期 末	年間配当 (中間+期末)	当初予想	配当性向
2014年 12月期	0円	15円	15円	5円	26.0%
2015年 12月期	0円	25円	25円	15円	24.5%
2016年 12月期	0円	30円	30円	20円	27.4%
2017年 12月期	15円	30円	45円	30円	26.6%
2018年 12月期 予想	20円	30円	50円	50円	25.2%

※2017年12月期より中間配当を実施

株式情報

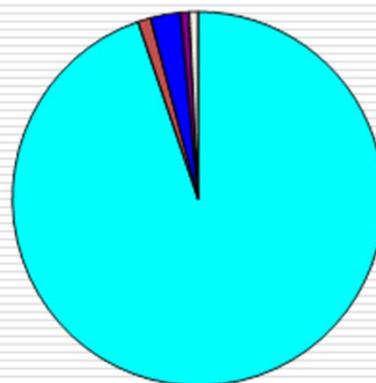
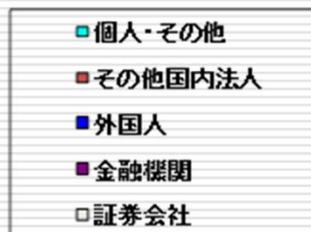
株式の概要

(2018年6月30日現在)

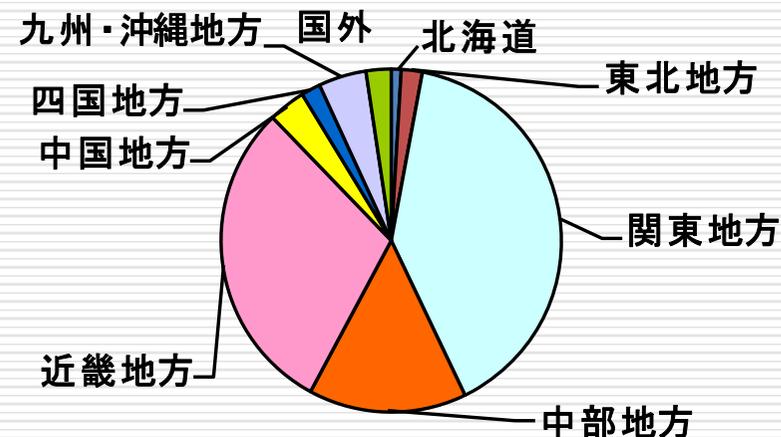
上 場 市 場	東京証券取引所 1部
証 券 コ ー ド	7 6 0 9
単 元 株 数	1 0 0 株
発 行 済	1 1, 1 5 5, 9 7 9 株
株 式 総 数	
株 主 数	3, 8 1 2 名

<株主構成>

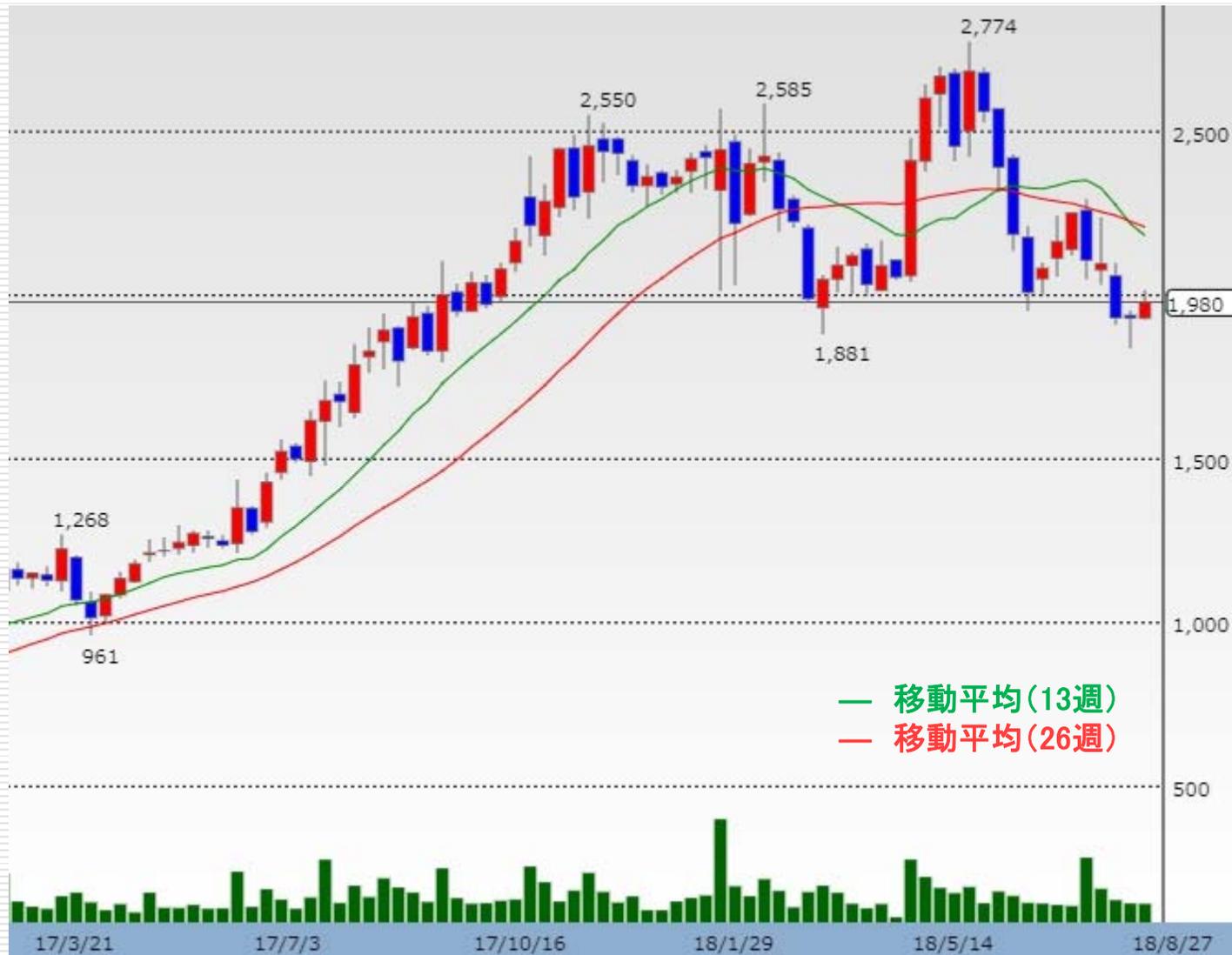
所有者別株主分布状況



地域別株主分布状況



株価推移



出典：Yahoo!ファイナンス 2018年8月31日現在

この資料で述べられている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

当社が位置するエレクトロニクス業界の電子機器・部品産業並びに製造装置産業は、テクノロジーの変化やスピードが大変速く、競争の激しい産業です。

また、北米やアジア諸国の経済情勢など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

従いまして、今後、当社の業績の見通しが本資料と異なる可能性があることをお含みおき下さい。

《本資料並びに I R に関するお問い合わせ先》

経営システム部 経営管理課 広報・I R 担当

TEL : 06-6399-5952

FAX : 06-6399-5962

e-mail : kouhou@daitron.co.jp

本日のご出席 有難うございました。